

# 読もうよ 中学生



No. 23 2021年2月24日発行 紋別市立図書館

## 新しく入った本の紹介



『銀獣の集い  
廣嶋玲子短編集』  
廣嶋 玲子／著

『本好きの下剋上  
第5部4』  
香月 美夜／著



『ログ・ホライズン  
外伝』  
橙乃 ままれ／監修

『Re:ゼロから始める  
異世界生活 25』  
長月 達平／著



『多分そいつ、  
今ごろパフェとか  
食ってるよ。続』  
Jam／マンガ・文



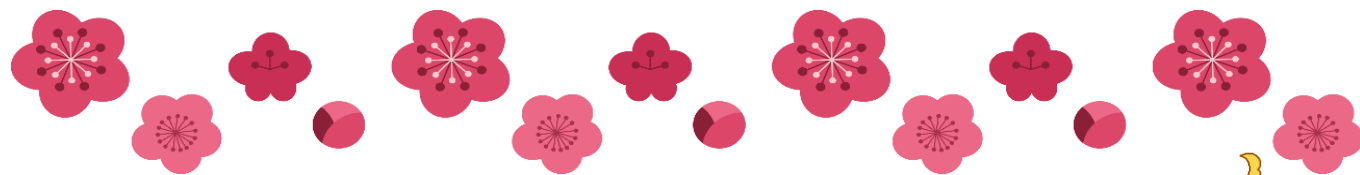
『約束の  
ネバーランド 4』  
七緒／小説

『新本格魔法少女りすか 4』  
西尾 維新／著



『自分を励ます  
英語名言101』  
小池 直己／著

『中高生からの防犯』  
武田 信彦／著



## ☆としょかんにあの本あるかな？

そんなときはパソコンやスマホから市立図書館の蔵書検索を！

紋別市立図書館のホームページから蔵書検索をすると、  
図書館に本があるか、借りられるか確認できます。

そのほかにも新着図書や貸出・予約の多い人気の本の  
紹介、調べものに便利なフリーワード検索などができます。



気になる本があったら、  
チェックしてみよう！



# 芥川賞・直木賞を読んでもみませんか？

【第164回芥川賞受賞作】

『押し、燃ゆ』 宇佐見 りん／著

逃避でも依存でもない、推しは私の背骨だ。  
アイドル上野真幸を“解釈”することに心血を注ぐあかり。  
ある日突然、推しがファンを殴って炎上し――。



【第164回直木賞受賞作】

『心淋し川』 西條 奈加／著

「誰の心にも淀みはある。でも、それが人ってものでね」

江戸、千駄木町の一角は心町(うらまち)と呼ばれ、そこには  
「心淋し川(うらさびしがわ)」と呼ばれる小さく淀んだ川が流れていた。  
川のどん詰まりには古びた長屋が建ち並び、そこに暮らす人々もまた、  
人生という川の流れに行き詰まり、もがいていた。



2021年  
本屋大賞

ノミネート作品

発表は  
4月14日

- ☆ 『犬がいた季節』 伊吹 有喜／著
- ☆ 『お探し物は図書室まで』 青山 美智子／著
- ☆ 『推し、燃ゆ』 宇佐見 りん／著
- ☆ 『オルタネート』 加藤 シゲアキ／著
- ☆ 『逆ソクラテス』 伊坂 幸太郎／著
- ☆ 『この本を盗む者は』 深緑 野分／著
- ☆ 『八月の銀の雪』 伊与原 新／著
- ☆ 『自転しながら公転する』 山本 文緒／著
- ☆ 『52ヘルツのクジラたち』 町田 そのこ／著
- ☆ 『滅びの前のシャングリラ』 凧良 ゆう／著



ちょっと読んでみたいな、  
と思った本はありましたか？  
少しでも気になったら、  
手に取って読んでみてください。